



No. 40

成田市
2016年2月発行



意識から行動へ～^{ひと}男女が響き合うまち 成田をめざして～



～笑いの力で、心も身体も元気に～

★Contents (主な内容)★

- ☆ 平成 27 年度男女共同参画講座開催報告②
- ☆ 市民が広げる男女共同参画社会
- ☆ 平成 27 年度男女共同参画推進員活動の感想
- ☆ さざなみインフォメーション

◆男女共同参画社会基本法 5 本の柱

- ①男女の人権の尊重
- ②社会における制度又は慣行についての配慮
- ③政策等の立案及び決定への共同参画
- ④家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤国際的協調

～平成 27 度男女共同参画講座開催報告②

フォーラム・イン・ナリタ

- ・実施日 平成 27 年 1 月 3 日（祝・火）10 時 30 分～
- ・講師 落語家 林家 木久蔵さん



「頑張らない子育て」と題して、落語家の林家木久蔵さんにご講演をいただきました。お父様である木久扇さんの子育ては、あまり口うるさく言わず、のびのびしたものだそうです。ただ、礼儀・挨拶・食育については厳しく、礼儀についてはお弟子さんを見て、やって良いこと、悪いことを見習われたそうです。食事では、お父様のアイディアで食材にワクワク感を持たせるという方法で好き嫌いを克服されたそうです。

ユーモアを交え、なかなか聴くことができない落語界のお話しと、最後は落語も披露してくださり、会場は和やかな笑いで包まれていました。（沖田推進員）

第 3 回 男女共同参画セミナー

- ・実施日 平成 27 年 9 月 26 日（土）13 時 30 分～
- ・講師 久保田 芳郎さん（キッコーマン総合病院院長）

「いつまでも若く元気で」というテーマで、ご講演をいただきました。先生がまず初めに言われたことは、日頃から健診を受け自分の身体をチェックすることが大切とのことでした。老化を引き起こす活性酸素のことや体の酸化を防ぐ食品を教えてくださいました。また、心のケアも重要で、幸せな加齢のためには、栄養運動・人との交流・好奇心をもつ・前向きな思考・そして生きがいと、目標を持つことが大切と言われました。終始にこやかに、ユーモアを交えながらお話ししてくださり、参加してくださった皆様からは、「とても良かった」、「元気になった」などのお言葉をいただきました。（一鍬田推進員）



～市民が広げる男女共同参画社会～（男女共同参画推進員）



男女共同参画社会は、国や県、市の取組だけで実現できるものではなく、私たち一人ひとりがその重要さや必要性を理解し、それぞれが主体的に取組を進めていくことが大切です。

そこで、市では市民一人ひとりが男女共同参画社会への理解を深め、意識の醸成を図るため、様々な取組をしています。

その一つに、男女共同参画推進員を委嘱し、各種講演会等の企画運営に参画していただき、市と市民が共に男女共同参画社会の推進を目指しています。

具体的な活動内容は、

- ①男女共同参画に関する講演会等の企画運営への参画
- ②男女共同参画情報紙「さざなみ」の発行
- ③地域における男女共同参画社会への啓発活動 などです。

※ 来年度、一緒に活動して下さる男女共同参画推進員を募集しています。詳しくは、最終ページ「さざなみインフォメーション」をご覧ください。





今年度、活躍していただいた男女共同参画推進員の皆様から、活動の感想をお伺いしました。

少子化に伴い、国を挙げて女性の社会進出を進めています。今は夫婦共に育児や家事をすることは当たり前前のようにです。これからは男女共にどの分野にも対等に進出できる社会が来るのではないのでしょうか。推進員として、男女共同参画社会実現の一助となるよう活動しています。 (一畑田推進員)

今年は、新しい仲間も加わり、セミナーの企画・運営等、皆で話し合い楽しく活動することができました。「男女共同参画」も男女それぞれの特性を生かしつつ、互いに認め合い安心して暮らせる社会へと進めていけたらと思います。 (清宮推進員)

日本は欧米と比べて、男女の役割分担の意識が社会的、文化的に根強いものがあります。多様な価値観や生き方が実現できる未来のために、私達にできることは何でしょうか。まずは、個人の心の中での価値観の転換という小さなイノベーションではないでしょうか。セミナーや講演会が何かのきっかけになり、家族や身近な社会の中で何かが変われば幸いです。 (中川推進員)

推進員一年生です。自分自身男女に差があるなどとは毫も思っておりませんでした。差ではなく違いがあって、その違いが差を生み出す原因になっているように思えて参りました。男性には子供は産めません。その違いをどのように理解し、分担し合えるか、意識の改革を迫られている昨今です。 (高仲推進員)

「男女共同参画推進員」という少し難しい名に、引き受けて大丈夫だろうかと思いました。先輩の推進員や担当職員の方々と共に講座を企画・開催することは新鮮な体験でした。これからの社会、男女がお互い尊重し合いながら能力を発揮できるような社会づくりの一助になればと思っています。 (沖田推進員)

今年初めて男女共同参画推進員として活動いたしました。様々なセミナーを開催していく中で、これまで考えていた男女共同参画の概念よりも、実際は広義であると感じました。中でも、『パパとあそぼ』という、社会の核である家族が、楽しい時間を共有できる体験型セミナーは、とても印象的でした。これからも見識を深めていきたいと思えます。 (渡辺推進員)

「あたりまえの男女共同参画に」
私自身が推進員をして実感したことは、「どんなコンセプトで、具体的にどんな行事を行うのか」が、とても難しかったということでした。しかし、これらの地道な啓蒙活動が、幅広い世代に浸透して「男女共同参画」がごく自然に実現していくものと思えます。 (浅野推進員)

セミナーを企画・運営をして学んだことは、子育てや介護など日常生活のなかの、色々な分野から男女共同参画の推進をアプローチすることができるということです。男女共同参画の意識を具体化し行動に移したことで、成田市の男女共同参画の基本理念である『意識から行動へ』において、一步前進の一年になったように思います。 (佐藤推進員)

推進員を引き受けたものの、どうしたら良いか戸惑いながらの一年でした。

他の推進員の方々とは初対面でしたが、皆さん優しく声をかけてくださり感謝しています。今は、セミナーの企画・運営とチームワークもバッチリ。今年も私にできることを、できる範囲で無理なく続けていければと思っています。 (片岡推進員)



★男女共同参画推進員を募集します

市では、市民一人ひとりが男女共同参画社会への理解を深め、意識の醸成を図り、様々な取組につなげていくことができるよう、男女共同参画推進員と共に、男女共同参画講座を開催しています。

平成28年度も講演会やセミナーの企画運営、情報紙「さざなみ」の発行などを通じ、誰もが自らの意志によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、共に責任を担うべき社会、活力ある地域社会を形成していく活動に参画してみませんか。

★応募資格 市内在住で平成28年4月1日現在
20歳以上75歳未満の人

★募集人数 10人

★任期 4月1日～3月31日

★応募方法 ①「推進員として目指すこと」(400字程度)、②履歴書(住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、これまでの社会活動等があれば記入)を、市民協働課に持参、郵送、FAX、Eメールで提出。様式は問いません。

★応募締切 2月29日(月)必着
詳しくは、市民協働課へお問い合わせください。

◆おたより募集中!

☆男女共同参画に関するご意見・ご感想
などをお送りください。

☆おたよりの送付先

〒286-8585 成田市花崎町760

成田市市民生活部市民協働課

男女共同参画係

TEL 20-1507 FAX 24-1086

Eメール kyodo@city.narita.chiba.jp



女性活躍推進法施行

平成27年8月28日に成立した「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」についてご紹介します。

この法律では、働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に役立つ情報の公表が、国や地方公共団体、民間事業主※に義務付けられました。

(※常時雇用する労働者が300人以下の民間企業は努力義務) 国や地方公共団体及び民間事業主は、その責務を明らかにし、以下の基本原則の実現のためそれぞれが行動します。

- ①女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供及びその活用と、性別による固定的役割分担意識を見直し職場風土の改革に取り組むこと。
- ②仕事と家庭との両立を図るために必要な環境を整備し、仕事と家庭との円滑かつ継続的な両立を可能にすること。
- ③女性の仕事と家庭との両立に関し、本人の意思が尊重されること。

※詳しくは、内閣府男女共同参画局ホームページ (http://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/index.html) をご参照ください。



編集後記：今年は、「女性活躍推進法」の施行を受け、女性の職業生活がどのように変化するのか注目しています。

本市においても、第2次男女共同参画計画が終了し、第3次計画の取組みが始まります。気持ちを新たに情報紙「さざなみ」を発行して参りますので、どうぞお付き合いください。